

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月17日更新

事務事業名		農業振興地域整備促進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5 都市基盤の健康				所属部	産業振興部	課長名	塚本 健洋
	施策	23 計画的な土地利用の推進				所属課	農政課	担当者名	坂本 強
	施策の柱	65 計画的な市街地の形成				所属班	農政班	(内線)	5222
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	農業振興地域の整備に関する法律 合志市 農業振興地域整備促進協議会条		成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業経営の基盤となる適正な農地管理を行うため、市内の農地の状況把握や計画的な土地利用及び農業の振興を図る農業振興地域の指定(昭和46年に熊本県知事より農業振興地域の指定)を受け、農地の保全に努めている。今後は、農業者の高齢化、後継者不足により遊休農地等の問題がある。また、住宅地、工業団地等の開発が今後予想される。県の会議が年二回開催されるのに合わせて開催する。
【業務の流れ】	農振除外等の申請受付、現地調査、合志市農業振興地域整備促進協議会の開催、県農振審議会への協議、除外等の公告
【主な予算費目】	報酬、旅費、役務費
【意見や要望】	地権者から、住宅建設等の理由により所有農地を農用地から外して欲しい等の要望が寄せられる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	農業振興地域整備計画の部分見直し及び事務事業の概要と同じ	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		農業振興地域整備計画の部分見直し及び証明書発行事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア: 除外面積	ha	
→ イ: 編入面積	ha	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	農業振興地域内農地	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 農地面積
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	農地として保全されている	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 農用地からの除外面積/農地面積
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
基本的に農用地除外は認められず、特別な理由や公共的な物(携帯電話送受信鉄塔等)でないとは除外は認められないから。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア	ha	12.1	0	1	0	1	1	2	2
	イ	ha	0	0	0	0	0	0	0	0
② 対象指標	ア	ha	1,838	1,838	1,838	1,838	1,838	1,838	1,837	1,837
	イ									
③ 成果指標	ア	%	0.65	0	0.05	0	0.05	0.05	0.05	0.05
	イ									
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	19		10	20	10	10	10
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	87	5	150	263	150	150	150
		(A) 事業費計	千円	106	5	160	283	160	160	160
		(A)のうち指定経費	千円	63	0	97	33	97	97	97
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	2	4	4	4	4	4
延べ業務時間		時間	620	440	574	620	574	574	574	
(B) 人件費計		千円	2,302	0	2,286	2,452	2,286	2,286	2,286	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,408	5	2,446	2,735	2,446	2,446	2,446	

事務事業名	農業振興地域整備促進事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 農業の振興を図るうえでは、関係機関と連携し農地の保全に努めている。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 農用地指定からの除外は、最低限に抑えられている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 常に本市総合計画並びに都市計画マスタープラン等の計画と連携する必要がある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 法律による規定の事務である。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員で事務を行なっているため、人員の削減はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 農用地の確保は、公の目的である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法律による規定の事務である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

現在は、農地法等の改正により農用地の除外要件が厳しくなっており、除外の申請に容易に対応することが出来ない。今後は、制度改革に伴い10ha以上の繋がりのある農地は農用地区域に編入することが必要であり、市の基本構想との関連をとり業務を行っていく必要がある。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						